令和元年　田原市議会広報広聴委員会視察報告書

日　程　令和元年 8 月 5 日（月）～6 日（火）

視察先　１　「出前講座の実施状況について」「議会報告会の手法について」
（神奈川県秦野市）

２　「議会報告会の実施状況について」「政策討論会の手法、状況について」
（静岡県掛川市）

３　「議会報告会の手法、状況について」
「常任委員会と関係団体との意見交換会の手法、状況について」
（静岡県磐田市）

参加者	委員長	辻　史子	副委員長	廣中　清介
	委　員	長神　隆士	委　員	平松　昭徳
	〃	中神　靖典	〃	村上　誠
	〃	鈴木　和基	〃	内藤　浩
	事務局　書記	鋤柄　沙織	事務局　書記	川合　一子

１　「出前講座の実施状況について」「議会報告会の手法について」（神奈川県秦野市）

令和元年 8 月 5 日（月）13：00 ～14：30
会　場　秦野市役所　議会第 1 会議室
対応者　秦野市議会　議長　阿蘇　佳一　氏
秦野市議会　議会報告会検討委員会　座長　八尋　伸二　氏
秦野市議会議会局　局長　柏木　秀治　氏
秦野市議会議会局　議事政策課長　國廣　太清　氏

（１）概　要

秦野市は、神奈川県央の西部に位置し、北方には神奈川県の屋根と呼ばれている丹沢山塊が連なり、南方には渋沢丘陵が東西に走り、一年を通じて登山やハイキングに観光客が訪れる。行政面積は 103.76ｋ㎡、令和元年 8 月 1 日現在の人口は約 16 万 5 千人で、ここ数年減少傾向となっている。

市議会議員は 24 人。常任委員会は、総務（8 人）、文教福祉（8 人）、環境都市（7 人）、予算決算（23 人）の 4 委員会。他に議会運営委員会（9 人）がある。[R1.8.5 時点]

早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査 2018 ランキングでは、神奈川県内 8 位、全国 108 位。特徴として、議会報告会を平成 23 年 6 月制定の議会基本条例第 3 条第 2 項に基づき、議会活性化特別委員会（H23.9～H26.6）・議会報告会検討委員会（H27.4～）で検討、改善を重ね開催している。これまでに議会報告と併せて講演会や地区別のテーマ

設定、議員の 1 分間スピーチなどを実施。平成 30 年には初めての取り組みとして常任委員会ごとに所管事務に関連する団体との意見交換を行う。また、平成 28 年から市内の団体・グループを対象に議会のしくみについて説明する「出前講座」に取り組み、特に高等学校での講座が好評で毎年 2～3 校訪問している。

（２）参考になった点

【出前講座】

・出前講座は、市内の団体を対象に議会や市の事業に対する市民からの意見を聞く場ではなく、議会が何をしているか、議員はどんな仕事をしているか等、議会のしくみを知ってもらう取り組み。

・選挙権年令引き下げに伴い、高校生が地域の課題等を自ら考え、身近にある市議会や議員のことを知ってもらうため、議長・副議長が出向き「選挙と議会のしくみ」についての講義、生徒からの質疑応答や選挙管理委員会事務局との合同開催で模擬投票などの出前講座を実施している。全員が興味ある訳ではないので、どうやって興味を持たせるかがポイントとなる。

・ライオンズクラブの活動などで若者と接することに慣れている阿蘇議長の出前講座は、そのユーモラスな人柄で好評を得ており、申し込みで 議長指名もある。

・議長、副議長が主体となって出前講座や議場見学に取り組んでいる。

【議会報告会】

・議会基本条例に基づき、議会活性化特別委員会が設置され議会報告会を開催。平成 27 年 4 月からは議会報告会検討委員会が発足し、地域の課題設定やワークショップ方式の導入など改善と工夫を重ねている。

・口頭説明や紙資料ではわからないとの苦情を受け、次回からパワーポイントなど画面を使用するなど、報告会開催後に反省点を抽出し、その課題解決に向けた対応をしている。

・ワークショップ方式を取り入れたことで、ノイジーマイノリティーの排除にも成功している。

・講演会の併用や地域の課題に合った地区別のテーマを設け、議員はなるべく地元の報告会へ参加している。

・第 4 回で取り入れた、常任委員会ごとに各議員の議案などに対する 1 分間スピーチが大変好評を得た。

・第 6 回で取り入れた消防団や商店会などの特定団体との報告会ではテーマがはっきりし、参加者の平均年齢が下がるなどよい効果が出ている。

・今後はファシリテーターを議員自身が務められるように養成研修を開催し、要望書や意見書など必要な措置の検討を進めている。

【議会だより】

・議会だよりの表紙に市内高等学校写真部の作品を採用し、高校生の関心を集めている。
・議会だよりの表紙写真をテーマに沿って公募している。
・議会だよりに議長の公務を掲載している。

【その他】

・小学生 3～6 年生を対象にした夏休み議場見学会を実施している。

（３）所　感

【出前講座】

・議長の人柄もあり、高校生が楽しく議会や選挙を知る機会が与えられていることは、議会制民主主義の将来にとって、とてもよい取り組みと感じた。
・高校生だけでなく、あらゆる世代の方が政治への関心を持ち、議会・議員・行政の役割を理解できるきっかけづくりや市民と共に行うまちづくりの意識を高めたいと思う。
・これからの時代に広く多くの市民から意見を聞き、考え方を把握するのに出前講座は、有効な手法と感じた。広聴活動を進めていくことが議会に求められている中で、様々な意見の中から議会で議論を重ね、市民に有効なものを政策提言に結び付けられるように進めていく必要がある。

【議会報告会】

・参加者の確保に田原市同様に苦労しているようであった。各議員が地域や市民に周知と参加を促したり、支援者に要請したりしていた。
・秦野市でさえ試行錯誤している現実があり、田原市も今後の方向性について考えていく必要がある。
・市民と共に勉強できる講演会や常任委員会ごとの各議員１分間スピーチは取り組みやすいと考える。
・「地域別テーマ」を設けての意見交換は、意見や要望を得やすいと感じた。ワークショップ方式はディスカッションのためノイジーマイノリティー対策にもなると思う。
・ワークショップ、ワールドカフェ方式で意見交換を進めるためには、議員のファシリテーター養成研修受講が必要と感じた。

【議会だより】

・議会だよりに高等学校写真部の作品を掲載するのは、高校生が議会だよりを見るきっかけになるよいアイデアだと思う。
・市民参加型の議会だよりを作っていきたいと思う。

視察研修の様子

視察研修の様子

秦野市議会だより 2019.5　表紙（高等学校写真部の作品）

２　「議会報告会の実施状況について」「政策討論会の手法、状況について」（静岡県掛川市）

令和元年８月６日（火）９：00 ～ 10：30
会　場　掛川市役所　第２委員会室
対応者　掛川市議会　議会運営委員会　委員長　松本　均　氏
　　掛川市議会事務局　主幹　赤堀　義幸　氏
　　掛川市議会事務局　主査　伊藤　千恵子　氏

（１）概　要

掛川市は、静岡県の西部に位置し、JR 東海道新幹線や東名高速道路、国道１号線などが東西に横断するなど日本の交通体系に恵まれた条件を備えている。また、平成 19 年 12 月 21 日に全国に先駆け生涯学習都市宣言を行い、実践している。行政面積は 265.63ｋ㎡で、令和元年７月 31 日現在の人口は約 11 万８千人で、ここ数年は横ばい傾向となっている。

市議会議員は 19 人（定員 21 人）。常任委員会は、総務（6 人）、環境産業（6 人）、文教厚生（7 人）の３委員会。他に議会運営委員会（7 人）、特別委員会の広報広聴（14 人）がある。

早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査 2018 ランキングでは、静岡県内１位、全国 37 位。特徴として、平成 25 年からスタートした議会報告会は、テーマを設定し、９会場（中学校区単位）で開催している。平成 29 年度からは各常任委員会が１年間のテーマ制による調査研究を進め、11 月の議会報告会において中間報告と市民意見を聴取し、政策討論会で議員討議を重ね、市長に提言書を提出し、施策・予算へ反映している。

（２）参考になった点

【議会報告会】

・議会報告会の準備はすべて議員が行い、事務局は議員と共に備品の移動を手伝う程度。
・常任委員会の取り組みをテーマに決めて議会報告会が開催されており、議論が深まっている。
・議会報告会における市民の意見聴取結果を政策討論会でまとめ、議会から市長に提言を行い、施策・予算へ反映している。
・自治会への加入率が高いこと、生涯学習を進めてきたことにより議会報告会への参加者が多い。
・報告会の進行をスムーズに行うため、リハーサルや想定Ｑ＆Ａを行っている。

【政策討論会】

・平成 25 年から政策討論会が開かれ、今までに討論されたすべての案件が政策提言に結びついている。
・常任委員会の政策立案や会派提案などテーマ決定後、4 回の政策討論会で合意形成が図られ、「政策議会」と位置づけている 11 月議会で執行機関と最終調整を行っている。

【その他】

・議会だよりの配布は、強力な自治会組織があるのでコンビニでの配架は考えていない。小中学校への配架や外国人向けの広報誌作成を検討している。

・中学生が政治への関心を持ち、主体的に政治に参画しようとする意欲を醸成するために「中学生議会」を３年間実施している。

・掛川市の「生涯学習都市宣言」の取り組みにより市民のまちづくりに参画する意識が高い。

（３）所　感

【議会報告会】

・議会報告会の「報告」「テーマ」の内容が市民の興味を引く内容に設定すれば、多くの市民が参加し、様々な意見を聴くことができると思った。田原市の議会報告会も内容を見直すべきと感じた。

・議会報告会のリハーサルや想定Ｑ＆Ａは、各議員のスキルが上がると思う。

【政策討論会】

・政策討論から市長へ政策提言を行い、施策の反映や予算の実現と結果を出していることに感心した。本市議会に欠けている部分だと思う。

【議会だより】

・議会だよりの学校への配架検討は斬新だった。子どもたち同士で見ることは、また違った効果が期待できると思う。

【その他】

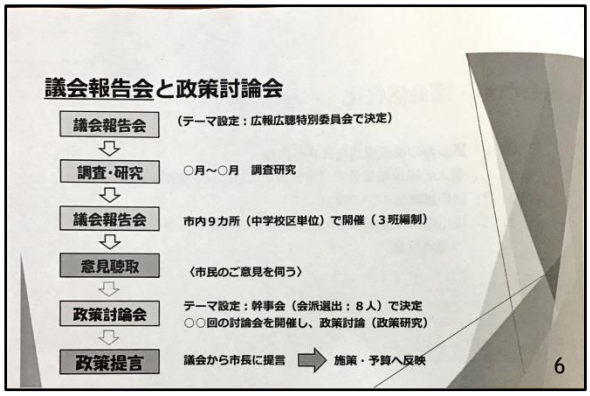
・全国に先駆けて生涯学習都市宣言を行い、人づくりとまちづくりの両輪で生涯学習を進めてきた成果として、行政に頼らず市民自らまちづくりに参画する意識が高いことに感心した。

・議会傍聴者が年間８００名以上であることからも市民の関心の高さが窺える。

視察研修の様子

議場見学の様子

議会報告会の流れ


議会報告会と政策討論会
議会報告会
（テーマ設定：広報広聴特別委員会で決定）
調査・研究
○月～○月　調査研究
議会報告会
市内９カ所（中学校区単位）で開催（３班編制）
意見聴取
（市民のご意見を伺う）
政策討論会
テーマ設定：幹事会（会派選出：８人）で決定
○○回の討論会を開催し、政策討論（政策研究）
政策提言
議会から市長に提言
施策・予算へ反映
6

３　「議会報告会の手法、状況について」
「常任委員会と関係団体との意見交換会の手法、状況について」（静岡県磐田市）

令和元年８月６日（火）13：30 ～ 15：00
会　場　磐田市役所　委員会室
対応者　磐田市議会　鈴木　正人　氏
　　磐田市議会　根津　康広　氏
　　磐田市議会事務局　局長　飯田　剛典　氏
　　磐田市議会事務局　主任　寺田　聡志　氏

（１）概　要

磐田市は日本のほぼ中央、静岡県西部に位置し、交通の要所として発展してきたため、鉄道はJR東海道本線、道路は東名高速道路や国道１号が横断する恵まれた地理条件を備えている。サッカーＪリーグのジュビロ磐田、ラグビートップリーグのヤマハ発動機ジュビロのホームタウンとしてスポーツを中心としたまちづくりを進めている。行政面積は163.45ｋ㎡で、令和元年７月31日現在の人口は約17万人。

市議会議員は25人（定数26人）。常任委員会は、総務（8人）、民生教育（8人）、建設産業（8人）、広報広聴（7人）、予算決算（24人）の5委員会。他に議会運営委員会（9人）がある。

早稲田大学マニフェスト研究所による議会改革度調査2018ランキングでは、静岡県内5位、全国159位。特徴として、平成24年度から始まった議会報告会は、改善を重ね平成29年度は会場ごとに委員会に沿ったテーマを設定し開催、平成30年度はグループワーク形式で開催し、議会報告会報告書をホームページに掲載している。

（２）参考になった点

【議会報告会】

・議会報告会は、土曜日開催、1日6会場、時間帯は10時、14時、19時開始で、年齢や仕事などそれぞれに層の違う人たちが参加している。
・議会報告会は、平成24年から議会報告会運営会議が中心となり始まる。平成28年度から広聴活動に力を入れる等の理由から広報広聴委員会で運営し、年1回開催している。議会報告会開催のため、広報広聴委員会は協議会を9回開催している。
・全体での参加年齢層は、60代、70代が圧倒的に多い。
・平成30年の報告会からグループワーク方式に変更し、動員をかけず告知のみで参加者募集した結果、参加者数が激減したが参加者からは好評を得た。少数意見にも触れることができ、とても参考になったとのこと。チラシにグループワークの実施とテーマが示されているのはよい。

【意見交換会】

・意見交換会は、要望を受ける場ではないという姿勢をはっきりさせている。

【議会だより】

・業務提携しているセブンイレブンに議会だよりを約 300 部配架している

・議会だより「いわた羅針盤」の表紙に高等学校写真部の作品も採用している。

【その他】

・平成 27 年度から市議会ご意見ポストを設置し、年間 10 件ほど意見がくる。

・市議会からフェイスブックによる情報発信をしている。

（３）所　感

【議会報告会】

・議会報告会の実施報告書は、意見の内容・6 会場全体のまとめ・アンケート結果等が冊子としてまとめられ、市議会のホームページに掲載されており、「視える化」されている点に感心した。

・市民と地域課題を考えるには、グループワーク形式でグループ討議を進めることで多彩な意見を聴くことができると感じた。幅広い世代の意見を聴くためには若者の参加を促す方策や、参加者数よりも内容の濃い、市民の声を聴き反映する手法の検討が必要と考える。

・田原市では開催していない昼間の議会報告会なら参加できる層はあるはずなので、開催してみる価値があると感じた。

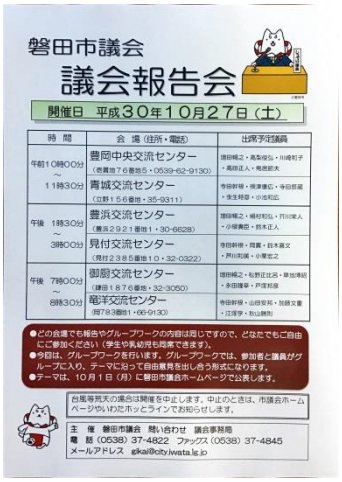
【議会だより】

・議会だよりの表紙に市民からの写真を採用することで、関心が高まると感じた。

視察研修の様子

視察研修の様子

議会報告会チラシ



磐田市議会だより 2018.12
表紙（高等学校写真部の作品）